

運営方針にかかる外部評価の進め方について(案)

◆外部評価

- ・自己評価にて、戦略のアウトカムに対する有効性が正しく評価されているかを基本に、翌年度策定時の参考になるよう問題点の指摘を行う。

(参考)

自己評価及び内部評価から見えた問題点

自己評価において、目標の効果が得られたかの評価になっておらず、見直しを行えていない戦略・取組が見受けられた。

また、アウトカムの達成状況を順調とする戦略が、局では8割を超え、高い割合となっていることから、マイナス評価を忌避する所属があると考ええる。

マイナス評価の忌避については、次のような形で、運営方針策定時から表れる。

「目標設定の適正化」

→目標を達成しても、将来像が実現する設定になっていない

「活動指標による目標設定」

→経営課題の要因分析・課題から考えた、目標設定になっていない

- ・各局・室の担当委員を定め、評価結果は、外部評価シートに記載し、次回有識者会議において評価結果として取りまとめる。

◆外部評価の進め方

(1) 内部管理分野

平成26年度運営方針自己評価シート及び平成27年度運営方針を基に、外部評価を行う。

対象所属	担当委員	対象所属	担当委員
政策企画室	上村委員	総務局	山本委員
会計室、行政委員会事務局	奥谷委員	人事室	善積委員
財政局、契約管財局	福田委員	市政改革室	和田委員

（２）内部管理分野以外

外部の視点で検討を促すためのアドバイスをいただき、運営方針の理解を深め、自律的な運営方針の策定につなげるため、委員２人１組となり、各所属長とダイアログを実施する。

ダイアログについては、平成 26 年度運営方針自己評価シート及び平成 27 年度運営方針を基に、１所属 30 分程度で行う。

所属が希望する戦略 1 つに対し、「適正に評価しているか」「アウトカム等の目標設定が適切であったか」等、所属が抱える問題点について、PDCAの観点で意見交換を行い、その後、外部評価を行う。

分野	対象所属	担当委員
A	市民局、福祉局、健康局、 こども青少年局、教育委員会事務局	山本委員
		善積委員
B	危機管理室、経済戦略局、中央卸売市場、 都市整備局、環境局、消防局	福田委員
		和田委員
C	都市計画局、建設局、港湾局、 交通局、水道局	上村委員
		奥谷委員